

# ～宮大生のための交換留学～ アメリカ・エヴァーグリーン州立大学留学報告

教育文化学部・研究科 人間社会学科・課程・専攻 4年（坂本麻衣）

○留学先:アメリカ・エヴァーグリーン州立大学

○留学期間:2012年9月～2013年6月(前期4月～6月、後期9月～3月)

○渡航時の学年: 3年次

○渡日前の手續について

・留学に至った経緯について:

日本では学べない学問、分野について勉強してみたいと思った。またアメリカという国に関心があり、様々なバックグラウンドを持つ人と交流することで自分の価値観を変え成長したいと思った。

・大学での手續について:

奨学金(給付型)

・査証取得:

VISAの申請(東京の大使館で8月)

○留学体験記:

EvergreenはLiberal Arts Educationを理念とし、生徒に専門や専攻が特にあるのではなく、学びたい授業をとる、学生が主体の学校です。学習評価方法も点数評価ではなく、生徒の授業に取り組む姿勢を評価します。Evergreenで生活する中で、学生の授業に対する意識の高さに驚き、個性的で自然を大切にしている学生が多いと感じました。私の留学生活は、10か月という限られた期間であったため、今まで自分が専攻したとこのない分野をできるだけ多く学んでみたいと思い、三学期とも別々の授業を受けることにしました。秋学期にはアフリカの経済と公衆衛生学をとり、冬学期にはインドのオリッサ州の音楽とダンスの授業をとり、現在はアメリカの人種の歴史について学んでいます。このような興味深い授業が多くあるのもEvergreenの魅力のひとつだと思います。ここでの授業は先生の講義だけではなく、Seminarと呼ばれる少人数のディスカッション、さらにWorkshopというグループ活動がありました。Seminarは、授業で扱う本の内容についてグループの中で話し合い理解を深めていく活動であり、私はなかなか発言できず苦戦しました。アメリカ人の中で授業に参加するのは容易ではありませんでしたが、得るものは多くありました。これら授業の他に、週に一度Evergreenの日本語の授業でアシスタントをしたり、外部から講師を招いた講演会や演奏会に参加しました。また、Asian Pacific Islander Coalitionというアジア人のクラブに入り、アジア系アメリカ人のことについて学んだり、持ち寄りパーティーをして交流を深めました。大学の敷地内にある寮に住んでいました。キッチン、風呂、トイレは3人のアメリカ人のルームメイトと共同で使用しましたが、個室の部屋がありました。共同生活は時に大変なこともありましたが、賑やかでホームシックになることは少なかったです。料理を作って一緒に食べたり、映画を見たり、遊びに出かけたりしました。長期休みにはルームメイトの実家があるアリゾナ州に招待してもらい一週間滞在しました。その他の長期休みには、オレゴン州のポートランドに行ったりハイキングをしたりして有意義な時間を過ごしました。

Evergreen州立大学への留学は予想以上に大変ですが、友達や先生に恵まれ沢山の素晴らしい経験できました。宮崎での生活から180度変わり戸惑うことも多々ありましたが、自分を見直し成長させるいい機会になりました。今回の留学はこれからの自分の人生の糧になると思います。

## ～宮大生のための交換留学～

### ○帰国後について

- ・派遣先で単位を取得しましたか？（した）
- ・派遣先で取得した単位は宮崎大学で認定されましたか？（しかなかった）

### ○今後、留学を希望する宮大生のみなさんへ

語学力を伸ばしておく。（留学条件である TOFEL スコアをクリアする。留学生との交流を通して学べる。）

アルバイトや奨学金を利用し資金を貯める。（航空費、寮費、生活費など。）

日本人としての自覚を普段からしておく。（伝統文化、政治、社会情勢などに関心を持つておくこと。）

